

検討項目6、7に関する検討の参考

6 事務の流れ

・どうい手順で、応募された提案の中から事業を決定するのか。(7とも関連)

<参考>

自治体名	類型	事務の流れ(スケジュールは自治体資料による)	自治体名	類型	事務の流れ(スケジュールは自治体資料による)
千葉県	応募型・創造型	県とNPOとの個別意見交換(H19.2月) 協働事業提案の募集(H20.4/15-5/15) 事前審査(資格審査)(H20.5月中旬) 第1次審査(書類審査)(H20.6月) 県とNPOとの協議(H20.7月) 公開プレゼンテーション(H20.8月上旬) 第2次審査(最終審査)(H20.8月) 協働事業候補の決定(H20.9月上旬) 議会の予算審議・議決・事業採択(H21.3月末) 協働事業の実施(H21.4月～) 協働事業の評価・成果報告会(H22.4月～)	奈良県	応募型・創造型	* 説明会の開催(H20.5/22,5/23) 県担当課に事前相談 事業提案・受付(H20.6/1-7/4) 第1次審査(書面審査)(H20.7月下旬予定) 公開プレゼンテーション(H20.9月上旬予定) 第2次審査(プレゼン・書面審査)(H20.9月中旬予定) 採択提案決定(H20.9月下旬予定) 提案NPOと県担当課との詳細協議(H20.9月下旬～10月上旬予定) 協働事業の実施(H21.4月～H22.3月) 事業実施後の事業評価・報告会(H22.5～6月)
神奈川県	応募型	<庁内公募> 企画書の提出(H20.4/16-6/13) 予備審査(H20.7月上旬予定) 知事審査(H20.7月中旬予定) 予算の調整(採択事業の実施部局)(H20.7月中旬～) <事業実施>(H21.3月～) 募集要項、交付要綱等の作成 選考委員会の設置(外部委員含む) 公募・応募 協議・選考 協定等の締結(課題認識、役割分担、責任分担等を明らかにする) 事業の実施 事業評価(実施部局とNPOの両者)	神奈川県	(創造型)	* 募集説明会(H20.7/15,18,23,26,8/7) 事業の提案(H20.7/1-8/15) 書類審査(H20.9～10月) プレゼンテーション審査(継続:H20.10.30 新規:H20.11.27) ボランティア団体と担当部署との協議(H20.12月～H21.2月) 交付申請書の提出(H21.2月) 最終審査(H21.2月) 選考結果の通知(H21.3月) ボランティア団体と担当部署の間での協定書締結(基本的なスタンス・役割分担を明確化)(H21.4月) 負担金の交付決定(H21.4月) 協働事業の実施(団体と担当部署が協働)(H21.4月～) 事業完了・負担金の額の確定(H22.3月) 評価:事業終了後、負担金の交付によって得られた成果を公表(成果報告会・成果報告書等)
佐賀県	(公募型市場化テスト)	業務内容の自己点検 業務内容の公表(H20.8/15) 相談会(H20.8/22～9/6) 提案募集・質疑(H20.8/15-9/30) 提案に基づく協議(H20.8/15～随時) 判断結果通知(H20.12月上旬) 判断結果の公表(H20.12月上旬予定) 事業の実施・評価(H21.4月～)	我孫子市	(公募型市場化テスト)	(注)現在募集されていない。 提案募集 協議 審査(予備審査・分科会審査・提案審査委員会審査) 審査結果の通知 提案の公表 事業の実施

7 審査・選考方法

- ・審査機関を設置するか否か。(審査機関の有無、委員構成、部会等の要否)
- ・どのような種類の審査とするか。(事前・資格審査、書面審査、プレゼンテーションなど)
- ・審査基準や評価項目をどうするか。
- ・選考のプロセスや結果を公開とするか否か。

<参考>

自治体名	類型	審査方法
千葉県	応募型・創造型	<p>事前審査(資格審査)                      第1次審査(選考委員会による書類審査)                      公開プレゼンテーション                      第2次審査(最終選考)</p> <p>&lt;審査項目&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業実施上の法令等による制約</li> <li>2 提案事業の遂行能力(実績、専門性などNPOの特性、組織の継続性・安定性)</li> <li>3 提案事業の内容</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題把握の的確さ ・事業目的の明確化 ・事業内容と事業目的の整合性 ・事業の有効性</li> <li>・協働の効果 【相乗効果】</li> <li>・協働の効果 【モデル性】</li> <li>・県と協働による実現可能性 【役割分担・実施体制】</li> <li>・県と協働による実現可能性 【収支計画・スケジュール】</li> </ul>
奈良県	応募型・創造型	<p>第1次審査:県庁内での書面審査(ボランティア・NPOとの協働推進会議)                      プレゼンテーション:第1次審査通過団体による公開プレゼンテーション                      第2次審査: の内容を総合的に審査(外部の有識者等を含んだ審査委員会)</p> <p>&lt;第1次審査基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募資格を充たしていること</li> <li>・特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でないこと</li> <li>・単なる陳情・要望でないこと</li> <li>・団体の規約・定款等で行うことができる事業を提案していること</li> <li>・NPOと県が協働を行う事業を提案していること</li> </ul> <p>&lt;第2次審査基準&gt;</p> <p>協働の必要性、公益性、独創性、先駆性、実効性、組織観・使命感</p>
神奈川県	応募型	<p>・選考委員会(外部委員を含む)</p>
神奈川県	(創造型)	<p>・神奈川県ボランティア活動推進基金審査会</p> <p>第1次選考(幹事会による事前調査=点数制評価 審査会=プレゼンテーション)                      第2次選考(審査会のみ)                      審査評価票(選考結果とともに送付)</p> <p>&lt;点数制評価の基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協働の評価(相互補完性、協働効果A、B)</li> <li>計画の評価(ニーズ、担い手、手法、費用対効果)</li> <li>期待できる効果(自立性、先駆性、普及)</li> </ul>
佐賀県	(公募型市場化テスト)	<p>・提案書提出後、提案者と担当課で協議し、必要に応じて「協働化調整会」で調整</p> <p>H19実施                      H19事業廃止                      H20以降実施に向け検討                      不採択                      意見として受け止め</p> <p>の5つに分類( ~ =採択)</p>
我孫子市	(公募型市場化テスト)	<p>予備審査(担当課)                      分科会審査(市民、有識者、市職員等で構成する委員会の下に提案ごとに設置)                      提案審査委員会審査</p> <p>・採用、条件付採用、採用に至らないもの の3つに分類</p> <p>&lt;選考基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>官民の役割分担は適切か</li> <li>市が実施するより効果的で質の高いサービスが提供でき、市民サービスの向上が図られるか</li> <li>市よりも効率的に実施でき、経費の節減につながるか</li> <li>雇用創出など市内経済への波及効果が期待でき、地域の活性化につながるか</li> </ul>

【審査機関の委員構成】

千葉県

選考委員会：公募委員を含むNPOに関する有識者、県職員の計7名で構成

H20年度の構成員：委員長 大学准教授

委員（公募2，NPO1，会社代表取締役1，県総合企画部参事、県NPO活動推進課長）

奈良県

第1次審査：庁内で組織するボランティア・NPOとの協働推進会議

第2次審査：外部の有識者等を含んだ審査委員会

神奈川県（創造型）

神奈川県ボランティア活動推進基金審査会：ボランティア活動に関する有識者等7名で構成

現任期中の構成員：会長 大学教授、会長職務代理者 NPO法人代表

委員（ボランティアセンター元所長、新聞社、大学教授、社会起業家、ロータリーの友事務所所長）

幹事会：審査会を補佐

我孫子市

提案型公共サービス民営化制度審査委員会：学識経験者3、市職員2の計5名で構成

H20現在の構成員：委員長 大学教授（専門：格付け評価、金融） 委員長職務代理 大学講師（専門：公共経済学

委員（元市場化テスト推進協議会事務局長、市総務部長、市企画財政部長）

【選考のプロセスや結果の公開について】

千葉県

(1)提案のあったすべての事業について、NPOの名称と事業名を公表する。

第1次審査通過事業については、審査結果（点数・附帯条件）を公表する。

なお、提出された提案書等は、採択・不採択を問わず原則として情報公開の対象となる。

(2)第1次審査通過事業については、公開プレゼンテーションや県民の意見募集などのため、提案書を千葉県NPO

パートナーシップオフィスで縦覧する。

(3)協働事業候補となった提案事業は、審査結果（点数・附帯条件）を公表する。

(4)事業実施後の評価の結果は、千葉県NPO活動推進委員会および千葉県NPO活動推進会議に報告し、公表する。

奈良県

(1)提案内容（提案団体名、代表者、事業名）を公表する。

(2)第1次審査を通過した団体によるプレゼンテーションを公開で行う。

(3)審査結果（第1次・第2次）の概要を公表する。

(4)事業実施後に公開で報告会を実施するとともに、事業評価結果の概要を公表する。

神奈川県（応募型）

(1)庁内公募のあった事業と採択事業については、県民部から事業名・担当所属名等を公表する。

(2)実施部局から、応募のあったNPO等の名称、事業計画の概要、選考されたNPO等の名称を公表する。

また、実施NPO等から提出された書類の写しと事業評価書を、一定期間県民が閲覧できるようにする。

神奈川県（創造型）

(1)提案書等に記載されているボランティア団体等や事業概要は、審査とボランティア活動の推進のためのみに使用する。

ただし、プレゼンテーションやホームページなどでは公開する。

(2)対象事業となった場合、その申請書や実績報告書等は、サポートセンターの基金21コーナーで公開する。

\*「神奈川県ボランティア活動推進基金審査会」の会議は公開だが、対象事業等の選考については非公開